

～町田国際交流センターだより～

がいこくじん 外国人のための せいかつそうだん 生活相談の あんない ご案内



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のため、町田国際交流センターは2020年3月から一部活動休止していました。9月からセンターは、感染症対策を行った上、外国人のための生活相談を始めます。新しい相談、翻訳、通訳の予約受付は8月21日(金)からです。次のように皆さんの相談を受ける予定です。

1 相談

COVID-19についての相談や、仕事、子育て、学校、ビザ、結婚、離婚、健康など、困っていることの相談ができます。

9月からはセンターでの対面相談だけでなく、電話、Eメール、オンライン (ZOOM等) による相談もできます。

【相談日】 毎週 火曜日・木曜日・土曜日

【時間】 13:30～15:30
(一人30分、要予約)

【注意】

① **5日前までに予約が必要です。**センターでの相談や、電話・Eメール・オンラインでも同様です。

予約しない日の相談はできません。

(例：9月1日(火)に相談したい⇒
8月27日(木)までにセンターに予約)

② 予約する時に、言語・相談内容を簡単にお知らせください。(準備のため)

③ オンラインによる相談希望の場合は主にZOOMを使います。

④ 相談時間は最大30分までです。

⑤ **新型コロナウイルス感染症を防止するため、必ずマスクを付けてください。マスクを付けないと、相談は出来ません。**

2 通訳について

9月から電話による通訳ができます。同行通訳はできません。同行ができるようになった時は、センターのホームページでお知らせします。

3 翻訳について

翻訳が必要な物をセンターにお持ちください。翻訳の内容、目的について確認後、翻訳できるかを決め、お知らせします。

ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで！」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



KOKUSAI インタビュー

王 娟 さん

Q お国はどこですか？日本に来てどのくらいですか？

中国です。日本に来てからもう4年になりました。

Q 故郷について教えてください。(素晴らしいところ、自慢できるところなど)

私の故郷は、中国の西安市です。西安は長安と呼ばれ、長い歴史を持っています。

中国の歴史上最も多くの王朝の都となった都城です。中国文明の発祥地として、世界4大文明古都の一つと認められています。観光地が非常に多いです。兵馬俑、博物館、大雁塔、小雁塔など。地元の名物料理がいっぱいあります、肉夾饃(ロオジャーモー)、涼皮(リャンピー)、餃子宴など。どれもとても美味しく、食べずにはいられないです。

Q お国のコロナはどうですか？

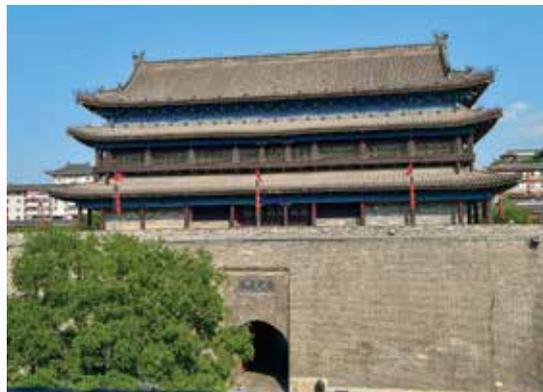
中国は最初より良くなりましたが、まだ終息していません。

Q 情報はとれましたか？

情報は取れました。

Q 新型コロナ対策で、ステイホームの間はどうしてましたか？新しい事にチャレンジした、できるようになったなどありますか？

自宅で筋トレ体操をしています。オーストラリア在住の先生のオンライン授業を受けました。料理が上手くなりました。



中国 西安



李 丹 さん

Q お国はどこですか。日本に来てどのくらいですか。

中国から参りました。月日の流れは早すぎて、日本に滞在する時間がまだそんなに長く実感をしていなく、もうそろそろ7年になります。

Q 故郷について教えてください。

故郷は中国のハルビンです。ハルビンは雪国であり、人々が氷と雪の世界に夢中な都市はほかにはあまりありません。ハルビンの冬は全てのツバメが南に飛んでいる間、「東方のパリ」として輝いています。

ハルビンの冬の美しさは間違いなく一生あなたの記憶に残ります。雪でメイクされる白い中央通り、ランプに照らされた壮大な聖ソフィア大聖堂、氷の彫刻、雪のアトラクションが楽しめる氷祭り、マイナス30℃、シベリアの冷たい風が吹いていても、現地の人々の情熱でこの寒さを溶かすことができます。ハルビンの魅力は数え切れないほどあります。是非とも一回来て、体験してみてください。



中国 哈爾濱

Q お国のコロナはどうですか？

自分の国のコロナ感染状況は大分落ち着いていますが、まだ不安定な状態が続いています。

Q 情報はどうされましたか？

町田市のコロナ対策や活動についての情報が欲しいです。

Q 新型コロナ対策で、ステイホームの間はどうしてましたか。

新型コロナウイルスは収束が見えない中、私の本業は学生であり、授業はすべてオンラインで行われています。アルバイトで日本語学校で非常勤先生として働いています。アルバイトもオンラインで授業を実施しています。今後の働き方は変わるのではないかと考えています。そのことを受け、新しいチャレンジしたことが中国の動画サイト「bilibili」のアップロード主になりました。動画の編集や音声の修正などの勉強しながら、日本語の学習方法などをアップロードしています。

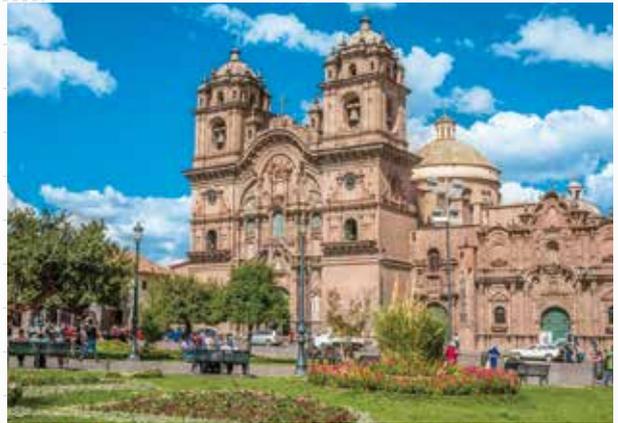
グズマン さん

Q お国はどこですか？日本に来てどのくらいですか？

吾輩の国はペルーです。20年前に来日しました。

Q 故郷について教えてください。

わたくしの生まれたところはクスコという町です。この町は、アンデス山脈の中で発展したインカ帝国の首都でした。もちろん、今は現代的な都市になり、インターネットがあつたり、飛行機も15分毎に発着するなど発展してきましたが、100キロくらい離れると、400年前の人（インカの子孫）と同じ生活を送っているひともいます（牧畜経済、母語はケチュア語、標高5500mの山の上に祭りなど）。



ペルー クスコ

Q お国のコロナはどうですか？

私の国は世界でも感染者が多い国の一つです。特に、人口当たりの死亡率がたかいです。中南米で国民総生産がもっとも落ちたのは私の国です。

Q 情報はとれましたか？

専門的な情報がほしかった。なので図書館へ行きました。図書館は新型コロナウイルス感染症の対応で休館中でした。そして、前よりインターネットの使用が多くなりました。映画はNetflixで、ニュースはGoogleで、自分の国のテレビ番組はユーチューブで、全く知らない人と近づきたいときはフェイスブックを利用しています。しかし、この中に日本の会社はありません。手の届くところで日本の情報が得られるビデオなども、欲しかったです（上記のようなもの）。

Q 新型コロナ対策で、ステイホームの間はどうしてましたか？

テレワークのおかげで忙しかったです。しかし、いま楽になって、これからどうすればいいのかを考えているところです。日本語の単語、「オタク」と「引き籠もる」の意味を識別することができました。一方で家事の仕事が増えました。子供との会話も増えました。

編集後記

皆さんは今年の夏をどう過ごされましたか。毎日新型コロナウイルスの感染者数が発表され、日本中が数字の増減により安心したり、不安を感じたりしています。

国際交流センターも、活動制限を始めてから、はや半年が過ぎました。国際交流をどうするか。地域に在住の外国人の支援をどうするか。根本的な課題が、保留となってしまいました。

日本人はコロナからできるだけ遠ざかるように、外出をひかえ、友人と会わない、会食しない、混んだ乗り物に乗らない、不用意に街に出ないなど、それぞれが、きびしく自己規制をおこなっているようです。

この際、今まで、時間がもったいないからという理由で、手をつけていなかった諸々の趣味や作業に、チャレンジしてみたいかがですか。

生涯学習センター まちだ市民大学HATS “こころ” と “からだ” の健康学公開講座 『眼の健康寿命を守る！セルフメディケーションセミナー』

まちだ市民大学HATS “こころ” と “からだ” の健康学の第3回を公開講座として実施します。パソコンやスマホの加速的な普及により、眼に対する負担は過去にないものとなっています。眼の健康寿命を延ばすために今日から出来るセルフメディケーションが学べます。

対 象 どなたでも
日 時 2020年10月8日(木) 10:00～12:00
会 場 町田市生涯学習センター 7Fホール
(町田市原町田6-8-1 町田センタービル内)
講 師 吉野 正夫 氏
(ビジョナリーホールディングスアイケア事業本部
R&D ジェネラルマネージャー)



定 員 19名(先着順)
費 用 無料

申 込 2020年9月2日(水)

午前9時から生涯学習センター(042-728-0071)にて電話で受付します。

ご注意 新型コロナウイルス感染症の状況から、中止または定員の変更等を行う場合があります。最新の情報については、町田市生涯学習センターホームページをご覧ください。

申 込
問い合わせ

町田市生涯学習センター

〒194-0013 町田市原町田 6-8-1 TEL 042-728-0071 FAX 042-728-0073
休館日 毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日) および年末年始(12月29日～1月3日)

こんにちは！国際交流センターです。

例年に比べ長い梅雨の時期がやっと終わり、暑い夏が始まり皆様に「ぼろんていえ」をお届けする頃には、まだまだ残暑が厳しいことでしょうか。

毎年夏休みには、海で、山で、また公園で遊ぶ、子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、夏休みが短縮され子どもたちの遊ぶ声も心なしが小さく感じました。

町田国際交流センターでは、外国籍住民の方々の交流支援活動を一日も歩みを止めることなく22年間続けてきましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延・拡大に伴い、一時的に活動を休止いたしました。

しかし、支援を必要としている外国籍住民の方々のため、9月より感染状況や国及び東京都の感染警報を注視しつつ一部支援活動を再開する予定となりました。

支援活動を再開するにあたり、支援者及び外国籍住民の安全を確保するための感染症対策としまして、フェイスマスク、飛散防止の亚克力板、手指のアルコール消毒液、検温器等の配置や各諸室の人数制限等を実施して

おります。

また、国際交流センターを訪れる際、外国籍住民及び各部会員のマスク着用は必須となっておりますのでご協力をお願いいたします。さらに、各施設使用後の消毒にもご協力をお願いします。

但し、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず、安全が確保できないと判断したときは、再開した活動を止むなく休止する場合もあります。

新聞報道等によれば、新型コロナウイルス感染症発生以前の生活を取り戻すことはしばらくできないと言われております。

そこで、ボランティア活動も今までとは違い新しい生活様式を踏まえ、支援交流活動を行わなければならないと考えます。

一日も早く、感染症を克服し、笑顔で活動できるよう事務局は願っております。部会員の皆様におかれましては、ご自身でも感染症対策を実施し、健康にはくれぐれも留意しお過しください。